子どもの遊び場を
より良くシリーズ①

子どもたちの遊び場を考える
～子どもたちが思い切り遊べるまちを目指して～

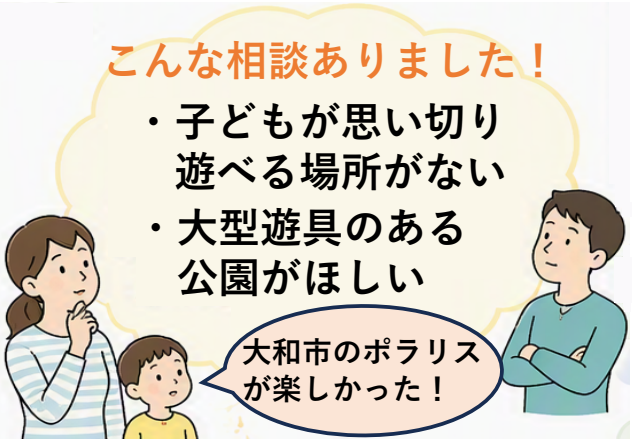


2026年8月号-2
No.81

子どもたちにとって遊びは、体を動かし考えながら成長する大切な学びです。安全への配慮は必要ですが、一方で思い切り遊べる環境も欠かせません。

子どもの遊び場についてのご相談をきっかけに、改めて、町田市の遊び場に目を向けると、自然豊かな公園は多いものの子どもたちが「行ってみたい」と思える遊び場については、まだ考える余地があるように感じました。
そこで、子どもの遊び場について調査を始めました。

出典：YAMATO発見ライブラリー　大和市
https://www.city.yamato.lg.jp/section/toshokan_jokamachi/yamato_park/



現地訪問



担当課にもお話を伺いました。

ポラリスの魅力は、大型遊具だけではありません。親子交流サロンやテラス、プレイルームが整備されているほか、公民館機能を持つ市民交流拠点として、会議室や交流スペースなども備えています。子どもの遊び場と市民交流機能が一体となっており、子どもから大人まで自然に集い、過ごせる空間となっていました。多くの親子に支持されている理由の一つは、こうした「遊ぶ」と「集う」がつながる施設づくりにあると感じました。

おぜき重太郎 プロフィール
埼玉県蕨市生まれ茨城県稲敷市育ちの49歳。早稲田大学卒。ものづくり（工場経営）をしながら電気通信大学を卒業。現場を知り技術を大切にする経験が市政での分析力や実行力の基盤に。2014年、町田市議会議員に初当選。建設常任委員長 等を歴任し4期目の現在は議会運営委員長に就任。“今できることを全力で”を信条に町田の救急医療の強化などの公約実現、そして市民の皆様にとって一番身近な議員を目指し日々奮闘中。

◎子どもの遊び場を充実させるには

町田市には子どもセンターや子どもクラブがあり、子どもたちの遊びや交流を支える居場所となっています。また、例えば忠生スポーツ公園などには、特色ある遊具が整備されています。
その一方で、子どもたちが「また行きたい」、家族が「休日に出かけたい」と思える魅力づくりには、さらに工夫の余地があると感じています。

遊びが育む4つの力

- ☑ 体力・運動能力
- ☑ 考える力・挑戦する力
- ☑ 友だちと関わる力
- ☑ 好奇心・想像力

＝

屋内の遊び場



子どもセンターや
子どもクラブなど

×

屋外の遊び場



忠生スポーツ公園には
大型複合遊具も

※総務省　行政評価局　子どもの居場所に関する調査報告書（2021年）を参考におぜき重太郎が整理
https://www.soumu.go.jp/main_content/000758695.pdf

遊びは体を動かし、考え、挑戦しながら成長する大切な機会です。
しかし、近年は猛暑や公園の制約などの影響もあり、思い切り遊べる環境は少しずつ減っています。だからこそ、これから時代は、屋内・屋外それぞれの良さを活かした遊び場が必要だと考えています。



重太郎

本当に必要なのは子どもたちが何度でも行きたくなる環境です。
そこで私は資源化施設整備にあわせて相原地域で計画されている「大戸広場」に着目し、子育て世帯が「また行きたい」と思える魅力を計画に反映できないか議会で提案を行いました。

おぜき重太郎の“こんな相談ありました”

おぜき重太郎は、町田市議会議員として、日々寄せられるご相談に真正面から向き合います。町田市に限らず、国や東京都を含めた行政に関するご相談についても丁寧に受け止めます。

時には制度の壁がありすべてが実現できるわけではありません。できない場合は理由をできる限り明確にお伝えし、時間がかかっても、別の解決方法がないかを考えます。

おぜき重太郎の“こんな相談ありました”では、実現したケースばかりでなく、実現に至らなかったケースも含めてお届けします。相談を通じて見えてくる地域や制度の課題を皆様と共有します。

**自由民主党・日本維新の会会派は
国政連立の強みを市政に生かし
実行力と実現力で町田の課題解決
に取り組む政策会派です。**

発行：自由民主党・日本維新の会
連絡先：〒194-0211　町田市相原町879-4　担当：おぜき重太郎
Mail: 10tarou0923@gmail.com　Tel: 090-5751-0482